

キリンビバレッジ・滋賀県栗東市・豊田通商が 「ペットボトルの水平リサイクルに関する協定書」を締結 ～ペットボトルの「ボトル to ボトル」水平リサイクルを加速～

キリンビバレッジ株式会社（社長 吉村透留）、滋賀県栗東市（市長 竹村健）、豊田通商株式会社（社長 貸谷伊知郎）の3者は「ペットボトルの水平リサイクルに関する協定書」を2月1日（水）に締結し、使用済みペットボトルを回収してペットボトルに再生する「ボトル to ボトル」水平リサイクルを4月1日（土）より開始します。

当社は、本協定の下、滋賀県栗東市で回収された使用済みペットボトルが、粉碎・洗浄などの工程を経て、リサイクラーである豊田通商株式会社にてリサイクル PET 樹脂に再原料化されたものを、新たなペットボトルにリサイクルし、当社の一部商品に使用します。

キリングroupは、2020年2月に社会と企業のレジリエンス強化へ向けた新たなビジョン「キリングroup環境ビジョン 2050」を策定し、「容器包装を持続可能に循環している社会」を目指すことを宣言しています。また「キリングroup プラスチックポリシー」では、2027年までに日本国内におけるPET樹脂使用量の50%をリサイクル樹脂にすること掲げています。今回、滋賀県栗東市において排出される使用済みペットボトルを、当社が「ボトル to ボトル」水平リサイクルで安定的にペットボトルとしてリサイクルすることで、持続可能な循環型社会の実現に貢献できると考え、本協定の締結に至りました。本協定により、年間約140トンのペットボトルを水平リサイクルできる見込みです。

■キリンビバレッジ株式会社・滋賀県栗東市・豊田通商株式会社の「協定」の連携事項について

- （1）ペットボトルの水平リサイクルに係る市民などへの普及・啓発に関すること
- （2）ペットボトルの水平リサイクルの枠組みの維持に関すること
- （3）その他ペットボトルの水平リサイクル及び資源循環の推進に関すること

回収・再原料化・商品化までの流れ



キリングroupは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよるこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 キリンビバレッジお客様相談室（フリーダイヤル）0120-595955

企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/> 商品・サービス情報 Web サイト <https://www.kirin.co.jp/>